

地域計画(案)

策定年月日	令和6年3月29日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	鹿児島市 (46201)
地域名 (地域内農業集落名)	下福元町(玉利、大脇原) (玉利、大脇原)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	18.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	18.0 ha
② 田の面積	0.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	18.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.3 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.2 ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

担い手が畜産・農業生産を行っているが、地域の多くの農地は小区画で、小規模の生産者が農産物を生産している。現在、ほとんどの耕作者が現状維持(耕作を続ける)の意向を示しているが、高齢による離農の可能性が高いことが課題である。

(3) 地域における農業の将来の在り方

耕作者が離農する農地を、担い手に集積させるとともに、集積しきれなかった農地については、地域外から多様な経営体呼び込み、農業生産を行ってもらう。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現在、ほとんどの耕作者が現状維持(耕作を続ける)の意向を示しているが、高齢化により離農する可能性が高く、そのような農地を担い手に集積する。担い手に集積しきれなかった農地は、地域外から呼んだ多様な経営体に農業生産を行ってもらう。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	12.7	%	将来の目標とする集積率
			20 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手が利用する農地面積の栽培ほ場数及び面積は、A113:3ヶ所、0.21ha A157:9ヶ所、0.47ha A180:22ヶ所、1.95ha A181:13ヶ所、0.97ha。今後離農者が増えることが予想されるので、担い手へ集積することにより団地化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
現状、ほとんどの耕作者は現状維持で、担い手への土地集積は難しい状況にある。今後は離農者が増える事が予想され、農地を担い手へ集積させていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
耕作者が離農する前に情報を把握し、離農予定地近くに農地を持つ担い手に伝え、双方の意見を調整したうえで、貸し借りが成立するようであれば、農地中間管理機構を通じて契約を行う。
(3)基盤整備事業への取組
今のところ取り組む予定はないが、状況に応じて検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
現在、地域内に担い手が4戸いるが、離農者が増えてくると、この4戸ではカバーできない可能性がある。地域内外から担い手となりうる多様な経営体を募り、育成していくため、関係機関と連携し、新たな担い手となるように育成に取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業委託サービス事業者が近くに存在しないため、担い手により地域農業の維持に努める。

以下任意記載事項

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

・農道、堂園原2号線及び大脇原3号線、玉利堂園2号線の拡幅を検討する。
大脇原4号線及び6号線の路肩復元を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	A113	畜産	0.21 ha	0 ha	畜産	0.21 ha	0 ha	A113	
認農	A157	花き・苗物	0.35 ha	0 ha	花き・苗物	0.47 ha	0 ha	A157	
認農	A180	野菜	0.98 ha	0 ha	野菜	1.95 ha	0 ha	A180	
認農	A181	畜産	0.76 ha	0 ha	畜産	0.97 ha	0 ha	A181	
利用者	a	野菜	0.07 ha	0 ha	野菜	0.07 ha	0 ha	a	
利用者	b	野菜	0.31 ha	0 ha	野菜	0.22 ha	0 ha	b	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	6経営体		2.68 ha	0 ha		3.89 ha	0 ha		

認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

